



おひさまだより

2018年8月号
社会福祉法人 尚徳福祉会
生麦保育園 園長 田淵 弘子



観測史上、今までで一番早い梅雨明けで、体が暑さに慣れる前に猛暑続きになってしまいました。

セミたちも遅れてはなるまいぞ！とあってか、いつもより早く土から出てきて木にとまり、大合唱を始めました。それでも子どもたちはその泣き声に負けないくらい元気に大はしゃぎで、プールや園庭遊びを楽しんでいます。

今年は気温の高さから外遊びを控えることもあります。その分新しく増えたおもちゃや絵本で、室内遊びも楽しみたいと思います。

室内の温度調整、水分補給、外から帰ってきたときのシャワーなど、今月も健康管理には十分気をつけていきます。



8月の行事



27日（月）乳児誕生会

28日（火）幼児誕生会

31日（金）プールじまい



保育実習生来園のお知らせ

8月27日（月）～9月7日（金）の期間で、鶴見大学短期大学部2年の女子学生2名が保育実習にきます。充実した学びの機会になって欲しいと思います。また、子どもたちも優しいお姉さん先生と楽しい思い出になりますように…。よろしくお願いします。





にゅうじくらす

水遊びの日は、水しぶきと子どもたちの楽しそうな声がキラキラとはじけています。子どもたちのはしゃぐ声に真夏の太陽も嬉しそうに一段と輝いています。安全面に配慮しながら、危険のないようにしていきます。



ようじくらす

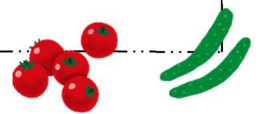
プールに入る前の準備体操や、体を水に慣らしてゆっくり入水することの大切さを伝えました。はしゃぎたい気持ちを抑え、「心臓がびっくりしないように…」としっかりと守っていました。今月も安全面には十分に気をつけていきます。



夏野菜と食育



今年はきゅうりが豊作で、収穫をするたびにトゲトゲを触ったり、取れたてのにおいをかいだりしました。育てたクラスのきりん組は各自1本ずつ家に持ち帰りました。他のクラスは18日の給食で、キャベツの胡麻マヨサラダ（材料には記入していませんでしたが）にきゅうりを入れてもらってみんなで食べました。うさぎ組のトマトも、1～2回給食時に食べることができました。オクラはしばらく茹でて柔らかくならず、残念ながら口にすることはできませんでしたが、上を向いてなることや、切ると星の形になることなど気づくことができました。自分たちで育てた野菜を食べることで興味を持ったり、自然の恵みに感謝をしたり、食べ物と身体の関係にも関心が深まるように、これからも食育活動を大切にしていきたいと思います。



保護者会主催【ラッキーさん】

ピエロのラッキーさんの登場に、乳児クラスはびっくりして泣いてしまう子が2～3人いましたが、ラッキーさんの芸に大きな声で笑ったり、手を叩いてはしゃいだり楽しい時間をみんなで共有することができました。最近では珍しい皿回しや玉すだれ、ほうきや三角コーンを棒でくるくる回す業に、子どもたちはもちろん、保育士たちもびっくりしました。風船のお土産もみんな喜んでいましたね。

保護者の皆さまご協力ありがとうございました。また、当日のお手伝いのお母様、お忙しい中ありがとうございました。

